

## 稲荷山公園基本計画（整備イメージ）の考え方

- 「武蔵野の面影」の再生
- 多様な動植物の生育・生息空間となる樹林地の拡大 など

### 視点1:計画地周辺の現状

- 周辺区市との関係性 ●都市の将来像
- みどりのネットワーク（周辺の公園・緑地との連携） など

### 視点2:計画地の現状

- 河川・地形 ●既存建物 ●既存道路
- 湧水 ●みどり（計画地の植生） など

### 視点3:計画地の課題

- 防災対策（土砂災害(特別)警戒区域、浸水区域）
- 社会変化（人口動態・都市構造の変化）
- 未接道宅地 ●都市基盤（下水道・雨水排水） など

### 視点4:整備のアイデア

- 「武蔵野の面影」の再現
- 周辺地域の種子・土壌の活用
- 維持管理計画の明確化  
(樹木管理方針の作成、区民協働による維持管理や環境調査)
- 小規模な遊水環境の整備
- 多面的な機能を生かした河川整備
- 土砂災害(特別)警戒区域の解消
- 災害時を想定した整備
- リスク検知を考慮した調整池の整備
- 「武蔵野の面影」を景観資源とした活用
- 右岸の崖線を含む高低差を生かした景観を楽しむ場の提供
- 樹林地の管理や環境調査による区民参加
- センター機能の整備 など

【意見の種類】 みどり：自然環境 青：防災  
赤：区民協働・交流

公園のゾーニング・将来像・ロードマップを検討する視点

## 具体的な検討項目

### 【森の景観を楽しむゾーン(左岸)】

- 災害時の利活用
- 災害時を想定した一時避難場所としての整備
- リスク検知を考慮した雨水調整池や河川の調節池の整備
- 水災害に対応した公園としての整備
- センター機能の整備（便益施設、会議室、環境教育や生物多様性を学べる場）
- 区民、子どもたちが遊べる広場や遊具、広がりのある景観を楽しむ場の整備など

### 【計画地全体】

- 森や川辺を身近に感じる散策路や親水空間を東京都と調整しながら検討・整備
- 樹林地だけでなく草原などの半自然草地による「武蔵野の面影」を再現
- 周辺の生産緑地・公園との連携
- かつての水田、湿地を想像できる小規模な遊水環境の整備
- 周辺地域の種子・土壌の活用
- 伝統野菜等が栽培できる田畑の再現
- グリーンベルトとしての役割
- 親水空間や浸水対策など多面的な機能を生かした河川の整備
- 崖線を含む高低差を生かした景観を楽しむ場の提供 など

連携

### 【森を守り育てるゾーン(右岸)】

- 既存の自然環境の保全とみどりの計画的な拡充
- 生物の拠点としての緑地の位置づけ
- 湧水と絡め、雨水を集水する環境の整備
- 湧水のかん養域となるような集水環境の整備
- 急傾斜地を生かし、地形と水の流れや生態系が見える環境の整備
- 周辺の生産緑地と一体となる公園の整備
- 樹林地の維持管理のための計画的な萌芽更新
- 土砂災害(特別)警戒区域の解消
- 里山管理や環境教育も含めた樹林地の管理や環境調査など森を育てる区民協働の仕組みづくり
- 地下施設の取扱い など

公園全体の将来像（ゾーニング）・段階的な整備のロードマップ